

3 学年 生徒、保護者の皆様

神奈川県立厚木北高等学校
校長 改田 晃

令和2年度 第1回「生徒による授業アンケート」(3 学年)の集計結果等について (報告)

本校の教育活動につきましては、日頃ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「生徒による授業アンケート」を実施し、貴重なデータを得ることができました。その集計結果を受け、各教科で分析するとともに授業改善への手立てを検討し、研究授業を実施するなど授業の質を今まで以上に高める取組を進めています。

つきましては、各教科における集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧ください、ご質問、ご意見等、お気づきの点がありましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

〔問合せ先 副校長 (046)241-8002〕

1 アンケートの実施日

令和2年8月4日(火)

2 各教科の集計分析・授業改善(概略)

国語	集計分析	現代文Bでは、「予習・復習をしている」等の項目で否定的回答が多く見られる。難解な文章を扱う中で、家庭学習を定着させられていないことが課題となっていると考えられる。古典Bでは、概ね肯定的な回答が多かったが、「予習・復習をしている」の項目で否定的回答が多くなっている。生徒自らのやる気を出させる工夫をしていく必要がある。古典講読でも「予習・復習をしている」の項目で否定的な回答が多かった。その一方で、「意欲的に取り組んでいる」では肯定的な回答が多かった。
	授業改善	現代文Bでは、家庭学習用の課題を出すなどして授業理解の補助を行い、読解の力をつけさせていきたい。古典Bでは、復習用の課題を出すことや関連する作品を紹介することなどを検討していく。古典講読では「予習・復習」の項目で否定的な回答が多かったので、予習復習が授業内でできるように展開していきたい。
地歴・公民	集計分析	全項目で肯定的な回答が多かったが、「予習・復習をしている」の項目で否定的回答が多かった。また、科目ごとでは日本史Aで「自分の考えを深めることができた」、発展世界史では「学んだことを関連づけて理解することができた」、政治・経済では「他者の考えを知る機会」で否定的回答がやや多かった。
	授業改善	授業の冒頭で復習の時間を設けたり、副教材を活用するなどして、生徒が予習・復習をするよう強く促していく。また、毎回の授業の内容を関連づける工夫や、生徒が授業内容の理解を深められるように、他者と話しあう活動を取り入れるなどの工夫を行い、生徒がより理解できるよう授業改善に努めていく。
数学	集計分析	数学Ⅲと発展数学は理系の科目で、授業のあり方に対する肯定的回答がおよそ70%と多く、その他の項目でも同様の回答が得られている。しかし、学習内容が多く専門性が高いという点から、生徒主体に授業を展開したり、生徒自らが分かろうとする意識が低くなりがちなので、その点を工夫することが課題である。数学研究については、それに加えて授業の満足度をもう少し高める必要がある。
	授業改善	全体的に、理解度に差が見受けられる。家庭でも振り返って学習できるようプリントを用い、ときには放課後の時間を活用して、個別対応で理解度の差が出ないように工夫していく必要がある。また、生徒が主体的に取り組めるような、授業展開の工夫も必要である。生徒が積極的に発言できる雰囲気づくりに徹する。
理科	集計分析	物理では、「理解度に合わせた授業」や「身についたことを実感できた」、「予習・復習をしている」で否定的な回答が多かった。化学では、主体的・対話的で深い学びに関して、十分な結果に達していない。生物では、意欲や家庭学習に関しては人数が少ないこともあり、回答が両極端に分かれている。しかし、主体的・対話的で深い学びに関しては、実感できている者が多い。
	授業改善	物理では、内容的に専門性が高くなっていることから難しさが増しているため、復習など家庭学習の機会が増えるよう促していきたい。化学では、生徒の主体的な活動(調べ学習や発表活動)を取り入れていく必要がある。生物では、調べ学習の仕方を工夫し、単発の発表で終わりにするのではなく、学習事項の関連づけができるようにすることで高次な学びの構築を目指したい。

令和2年度 第1回「生徒による授業アンケート」(3学年)の集計結果等について(報告)

保健体育	集計分析	体育においては、多くの項目において80%以上の生徒が肯定的回答であり、高い満足度を得ていることがわかる。全体的に取り組み状況が良好であるため、引き続き、生徒の発達段階に合わせたきめ細かい指導を行いたい。
	授業改善	自分が学びたい球技種目を選択する授業であるため、多数の生徒が積極的、かつ前向きに取り組んでいる。しかし、現状に甘んじることなく、生徒のニーズに応えつつ、よりわかりやすい授業にしていきたい。また、「予習・復習をしている」の項目が他に比べて低かった。健康の保持増進や生涯スポーツという観点から、授業以外でも運動に取り組むような働きかけを積極的に行っていきたい。
英語	集計分析	どの科目でも概ね70%以上の肯定的回答を得た。 コミュニケーション英語Ⅲでは、特に「意欲的な取り組み」で肯定的回答を多く得た。進路決定も目前に迫り、これまで以上に授業に集中して取り組むことができている。また、「理解度に合わせた授業」でも肯定的回答を多く得た。習熟度別授業により、生徒のレベルにあった授業ができていると考えられる。 英語表現Ⅱでは、「他者の考えを知る機会」で肯定的回答を多く得た。自分の答えと他者を比べることで、より多角的な考えを持つことができていると分析できる。また、「意欲的な取り組み」でも肯定的な回答が80%を超えている。 発展英文読解では、「理解度に合わせた授業」で肯定的回答が50%となっている。授業のペース配分やリズムなどを検討する必要がある。「考えをまとめたりする場面」では80%の肯定的回答を得た。学習の見通しや振り返りを今後も継続したい。
	授業改善	どの科目でも、「予習・復習をしている」で否定的回答が多かった。授業のポイントを明確にしたり、プリントを工夫したりする等の改善をし、家庭での学習習慣が身につくよう働きかけていきたい。また、次の授業で扱う内容をあらかじめ周知することで興味を持たせたり、定期的に小テストを実施することで、生徒が予習に取り組むよう工夫していきたい。 発展英文読解では、生徒の意欲に答えられる理解度に合わせた授業にするよう改善をしていきたい。
情報	集計分析	全般的には、概ね70%の生徒から肯定的な回答が得られた。ただし、「理解度に合わせた授業」の質問に対する肯定的な回答は65%程度となっている。生徒が課題に取り組み、完成するまでの時間には個人差があり、ペース配分やリズムなど、より丁寧な授業を心がけていく必要がある。「自分の考えを深めることができた」という項目においては75%の肯定的回答が得られた。
	授業改善	52分の授業内で、ペース配分をよく考え、生徒の興味・関心が持続するように改善したい。2学期後半と3学期は、個人で調べて発表するという授業形態とする予定であるため、そこで話し合いや発表する機会も改善されると思われる。また、パソコンの操作ができるだけでなく、情報社会の中でのモラルや正しい知識を身につけることの大切さに焦点をあてた授業を展開していきたい。